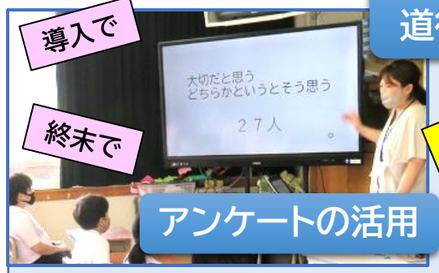
重点1 ねらいにせまるための授業構想の工夫

道徳的価値にせまる 東湊小学習スタイル

導入で
終末で

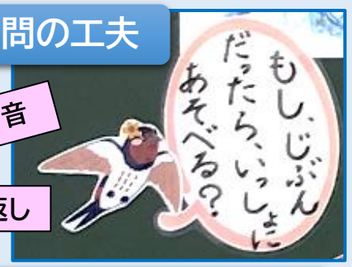


アンケートの活用

弱い部分の人間理解

発問の工夫

本 音
問い返し



多様な考えの他者理解

思考ツール・活動の工夫

《見通す》 《考える》 《深める》 《ふりかえる》

視点を与えた教材提示

インプット①
多面的・多角的に考えるためのしかけ

アウトプット①
多面的・多角的な考えにつながる自分の考えを表現

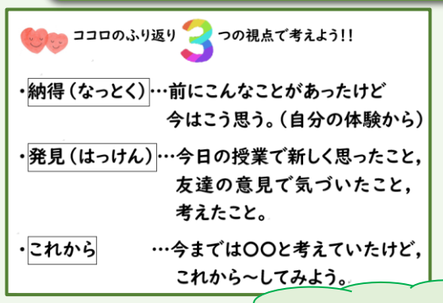
インプット②
自分の考えを広げ深めるためのしかけ

アウトプット②
変容した自分の考えを表現

アウトプット③
自分事として考えたことを表現

自分事としての価値理解

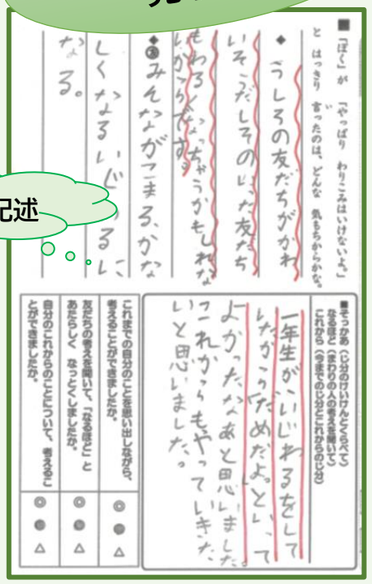
ふりかえる視点の明確化



視点を選択して記述

学びのビデオで児童と共有

継続して変容を見取る



自己評価の蓄積

波線（～）・・・多面的・多角的な考えの記述
直線（―）・・・自分との関わりについての記述
星（☆） ・・・道徳的価値の深まりがみられた記述

評価の視点の共有

重点2 児童の変容を見取るための評価の工夫

重点3 教育活動全体を通じた道徳教育の推進

道徳掲示

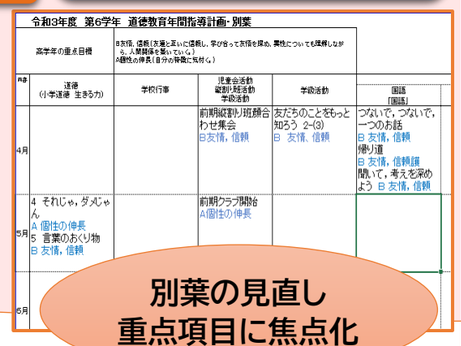
廊下

児童発信の学習の構え

教室（既習掲示）

学習規律ビデオ

他の教育活動との効果的な関連

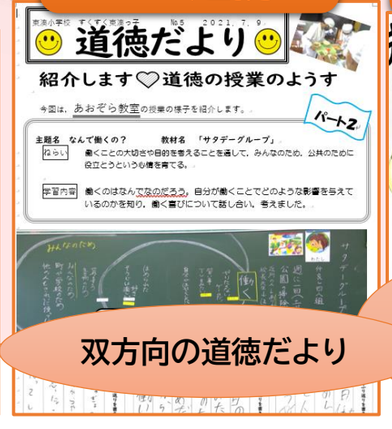


別葉の見直し
重点項目に焦点化

行事や学校生活での道徳的価値の意識化

道徳コーナー

地域・保護者との連携



双方向の道徳だより

よさを認め合う人間関係作り

いいところ見つけ
～児童相互～
～職員から～